

国会闘争速報

発行：全国労組交流センター

東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5F

TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463

kokkaitousou@yahoo.co.jp にアドレスを送ってください。連日、「国会闘争速報」をメールします。

教育基本法改悪・共謀罪強行阻止 12月14日～15日 国会行動のよびかけ

11・5集会実行委員会（よびかけ団体 全日建運輸連帯労組関西
地区生コン支部、全国金属機械労組港合同、国鉄千葉動力車労組）

教基法改悪・共謀罪強行をめぐる国会闘争は最大の山場にさしかかっています。安倍政権は、12月14・15日にも教基法改悪法案の参院特別委員会・本会議採決を強行しようとしています。しかし、職場・地域・国会前でこの間の闘いの広がり、安倍政権を追いつめています。教基法改悪の狙いは、改悪で



土砂降りの中、座り込み行動に立った沖教組・高教組（記事裏面）

山場、総決起を “我々は負けないぞ” 元気にハンスト貫徹

12月11日（月）、教育基本法の改悪に反対するリレーハンストは、3名のハンスト者を中心に支援者約30名の参加で貫徹された。先週に続いて都高教や



東京教組、都教組などの座り込みが断固として続けられた。この日は参院教基法特別委で参考人質疑が行われ、加戸守行・愛媛県知事、浜野健・東京都品川区長、穂坂邦夫・前埼玉県志木市長の3人が意見陳述した。傍聴者の報告によれば、3人と

あり、そのための日教組・自治労・すべての闘う労働組合破壊であり、国家による教育の支配戦争への道です。国鉄分割民営化攻撃を忘れるな！ 今こそ闘いにたちあがろう。私たちは11月5日、日比谷野外音楽堂に4900名が結集して「職場から闘う労働組合をつぐろう」「教基法改悪・改憲阻止の国会闘争に立ち上がろう」と誓い合いました。国会闘争の

最大の山場にあたって11・5集会実行委員会は以下の行動をよびかけます。（06年12月8日）
●緊急国会行動
★12月14日（木）14時～19時、国会前座り込み&国会前集会
★12月15日（金）14時（予定）
場所 衆議院第2議員会館前連絡先（事務局）
国鉄千葉動力車労働組合 千葉市中央区要町2の8 DC会館
電話 043・222・7207

も「教育基本法を変えても、教育現場は変わらないだろう」という意見で、「だったらなぜ変えるんだ。理由を言ってみろ！」と怒りの声があがった。随時行われた集会では、「あの安倍だから、13日にも締めくくり質疑採決を強行してくるかもしれない。油断せず、明日から3日間の闘いに総力をあげよう」と確認された。
●12日（火）中央公聴会（13時～16時15分）の公述人／安西祐一郎（慶応義塾長）／山岡修（日本発達障害ネットワーク代表）／木村孟（東京都教育委員会委員長）／大内裕和（松山大学文学部助教授）／浅野大志（埼玉大学学生）

国会前 の発言

12月11日

●岩手の高校教員Gさん：岩手から朝7時半に国会前に着きました。誰もいなかったのてどうしようかと思つたのですが、国会前に誰もいない日をつくつてはいけなと考

え、一人で国会周辺を「左周り」に歩いていました。そうしたら、ハンストの皆さんに出会えて本当にうれしかったです。「参考人質疑」を傍聴することができましたが、どの「参考人」も「法を変えても現場は変わらないだろう」と言っていました。だったら変え

なきやいいじゃないかと、怒りがこみあげてきました。

●都高教Kさん：今から60数年前、日本もアジアも戦争で多くの犠牲者が出た。教育基本法は、二度と戦争を繰り返さないという意志が込められている。国会議員よ、そういうことがわかつているのか。教育基本法を変えるということは、戦争をしないという憲法を変えることにつながり、日本を戦争にする国にするということだ。国会議員よ、それがわかつているのか。国会議員よ、憲法と教基本法を読み直してみよ。

■沖縄で県民集会

沖縄では10日、沖教組・高教組と沖縄平和運動センターが主催する「教育基本法の改悪を許さない県民集会」が開かれ、1500人が参加した。県庁前での集会後、「教育が権力の道具になる」と改悪案の成立絶対阻止を訴えて那覇市内をデモ行進した。

これに先立つ7日にも、土砂降りの雨の中で300人が県庁前での集会と座り込み行動を闘った(表面に写真)。平和運動センターの山城事務局長が、戦争への法案が何本も出され暴走している国会への怒りを表明。雷鳴がとどろき、県民広場が雨水で池のようになる中で、座り込みをやりぬいた。

■元校長からも反対の声

高知県では、県内小中高校の元校長が教基本法改悪反対のアピールを発し、その数は7日までに340人に達した。組合経験のあるなしにかかわらず多数の元校長が名を連ね、退職校長の9割が賛同した地域もある。教基本法改悪の先に「軍靴の足音が聞こえる」という危機感が、思想・信条の違いをこえて多くの元管理職をも動かした。(高知新聞)

■鳥取でも座り込み

鳥取県教組と県高教組は9日から11日正午まで、JR鳥取駅前広場で48時間の座り込みを行った。のべ50人がり

力的に、強引に教育基本法や憲法を変えようとしている。そういう権力に立ち向かうことのできる民衆の力を皆さんと一緒につくっていききたい。アメリカでは「落ちこぼれゼロ法案」が通つて、勉強できない若者が軍隊に組織されている。携帯電話番号が軍に登録されて、電話で巧妙に組織され、イラクに行かされて、身も心もボロボロになって帰ってくる。「報道が教えてくれないアメリカ弱者革命」という本に書かれている。明日の日本、教基本法が改悪された日本の未来を示しているよ

うだ。
レ方式で参加し、雨をもついで「行政の教育介入反対」「愛国心の強制反対」を訴えた。(毎日新聞)

行動予定

- 国会前座り込み
- ハNSTO者、連日の9〜18時
- 東京教組、連日の16〜18時
- 都高教、連日の14〜16時
- 全国連絡会、14・15日の9〜17時
- 百万人署名運動、11〜15日の正午〜16時
- 12日(火) 共謀罪阻止の国会前行動 正午〜17時 (主催：組対法共同行動) / 緊急院内集会 16時半〜17時半・参議院議員会館第1会議室、18〜19時・国会前集会 (主催：全国連絡会)
- 13日(水) 17〜18時、「ヒューマン・チェーン」
- 14日(木) 14〜19時、教基本法改悪・共謀罪阻止の国会行動 (主催：11・5労働者集会実行委) / 18〜19時、国会前集会 (主催：全国連絡会)
- 15日(金) 教基本法改悪・共謀罪阻止の国会行動 (主催：11・5集会実行委)

教育基本法改悪案は 改憲攻撃を一体!

- 「政府提出の教育基本法案は、自民党新憲法草案と矛盾するものではない」(10月30日、安倍首相)
- 「自民党の新憲法草案を踏まえた(教育基本法)改正案となっている」(11月27日、伊吹文科相)

核心点は第10条の破壊

- 「学習指導要領に基づいて行われる教育は『不当な支配』に当たらない。国旗国歌に関する9.21東京地裁の判決には控訴して争っているが、この点を明確にする(強制は違法ではないことを確認する)のが今回の第16条だ」(11月22日、伊吹文科相)